

くらしを支える紙製品 ～紙にできること～

2021年3月16日（火）～ 8月29日（日）

身近な紙製品から紙の特性、可能性を知り、
持続可能な社会に向けて、日々のくらしの中でできることを考える

紙は発明以来、2000年以上にわたって人類の文化、文明、歴史を支えてきました。世界的な製紙大国である日本ですが、紙の需要は近年減少が続いています。昨年より続くコロナ禍の中で、印刷・情報用の紙を中心とした「ペーパーレス化」に拍車がかかる一方で、トイレトペーパーやティッシュペーパーの買い占め騒動などにより、生活必需品である紙製品の重要性が改めて表面化しました。また、世界的な脱プラスチックの流れの中で、紙製品への期待も高まっています。

私たちは普段目にしているものだけでなく、見えないところ、気付かないような姿でも、多くの紙製品に囲まれて生活しています。本展が、身の回りの紙製品をとおして、紙という素材の特性、汎用性、奥深さ、可能性などを感じるとともに、地球環境問題という大きな課題に、私たちが日々のくらしの中でできることを考えるきっかけとなれば幸いです。

展示概要

1. 名称 「くらしを支える紙製品 ～紙にできること～」
2. 会期 2021年3月16日（火）～ 8月29日（日）
3. 開館時間 10：00～16：00 （入館は閉館の30分前まで）
4. 休館日 月曜日（祝日の場合は開館）
3/23（火）、4/30（金）、5/6（木）、5/7（金）、5/11（火）、5/12（水）、6/3（木）
6/10（木）、7/27（火）、7/28（水）、8/10（火）、8/11（水）、8/12（木）
5. 会場 公益財団法人 紙の博物館 4階企画展示室
〒114-0002 東京都北区王子1-1-3（飛鳥山公園内）
TEL:03(3916)2320 FAX:03(5907)7511 URL: <https://papermuseum.jp/>

6. 入館料 大人 400 円／小中高 200 円

*身体障がい者手帳、愛の手帳（療育手帳）または精神障がい者福祉手帳を
お持ちのご本人は無料、介助の方は半額となります。

7. 交通 JR 京浜東北線 王子駅南口下車 徒歩 5 分
東京メトロ南北線 西ヶ原駅下車 徒歩 7 分
東京さくらトラム（都電荒川線） 飛鳥山停留場下車 徒歩 3 分
都バス 飛鳥山停留所下車 徒歩 4 分

8. お問い合わせ先

公益財団法人 紙の博物館 学芸部 平野

TEL:03-3916-2320 FAX:03-5907-7511 E-mail:gakugei@papermuseum.jp

新型コロナウイルスの影響により、やむをえず会期等が変更になる場合がございます。
最新情報は、ホームページをご覧ください。

展示構成

I. 紙の特性 — 持続可能な社会に向けて

紙は植物繊維という自然由来の原料で作られていること、リサイクルも容易であることなど、紙の特性を示し、森林認証制度の利用やリサイクル状況などの観点から、紙は環境負荷が少なく、持続可能な社会づくりに貢献できる素材であることをご紹介します。

II. さまざまな場面で暮らしを支える紙製品

紙・紙製品は私たちの日常生活のあらゆる場面で使われており、必要不可欠な素材です。ここでは 5 つの場面に分けて、暮らしを支える紙製品を紹介します。

- (1) パッケージ・包装を支える
- (2) 衛生環境を支える
- (3) 物流・流通を支える
- (4) 意外な姿で支える
- (5) もしもの時を支える

III. 紙から一步先へ — これからを支える

植物由来の「セルロースナノファイバー（CNF）」は、持続可能な社会を支える無限の可能性を秘めた素材として期待されています。日本では木材パルプ製造で培った技術を活かした製紙業界をはじめ、化学メーカーや大学・公的研究機関など、オールジャパン体制で研究開発・実用化が進められており、世界をリードしています。

あらゆる用途への実用化も始まった CNF ですが、製品として採用された実例を示して、ご紹介します。

広報用画像



画像 1 さまざまな紙製品



画像 2 トイレットペーパー



画像 3 段ボール



画像 4 災害時に活躍する段ボールベッド

【写真提供：全国段ボール工業組合連合会】

